

官報

號外

明治二十九年一月十九日

日曜日

內閣官報局

○第九回 貴族院議事速記録第五號

明治二十九年一月十八日(土曜日)午前十時四十六分開議

議事日程 第五號 明治二十九年一月十八日

午前十時開議

第一 明治二十八年年度歳入歳出總豫算追加案審査期限ヲ定ムルノ件

第二 司法官試補實地修習期間ニ關スル法律 第一讀會ノ續(特別委員案)(政府提出)

○副議長(侯爵黒田長成君) 本日ハ蜂須賀議長所勞ニ附キマシテ本員代理ヲ致シマス、一昨十六日本院ニ於テ可決致シタル國費ヲ以テ臺灣ニ神社ヲ建築スルノ建議書ハ昨日政府ニ提出致シマシタ、次ニ同日衆議院ヨリ政府提出明治二十八年年度歳入歳出總豫算追加案ヲ受領致シマシタ、次ニ昨十七日政府提出治安警察法案ヲ受領致シマシタ、次ニ大藏省主税官有尾敬重君大藏省所管事務政府委員ヲ仰付ケラレマシタル旨昨十七日政府ノ通牒ヲ受領致シマシテゴザイマス、次ニ司法官試補實地修習期間ニ關スル法律案特別委員會ニ於キマシテ委員長ニ公爵徳川家達君副委員長ニ兒島惟謙君當選ニナリマシテゴザイマス

○加藤弘之君 日程ニ移リマス前ニ本員等カ政府ニ質問ヲ致シマシタ事ニ附イテ少シ辯明致シテ置キタイ

○副議長(侯爵黒田長成君) 宜シウゴザイマス

(左ノ質問主意書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

教育高等會議創設ニ關スル質問主意書

本院ハ第八議會ニ於テ教育高等會議創設ノ必要ヲ感シ建議スル所アリ衆議院モ亦同ク建議セリト聞ク而カモ未タ政府ノ之ヲ採用セシヲ聞カス然ルニ今日ハ臺灣既ニ吾カ版圖ニ歸シタレハ更ニ其教育方法ヲ講セサルヲ得ス又既ニ清國償金ノ幾分ヲ教育費ニ充用スルノ建議モアリ是等ハ皆教育事務上最モ鄭重綿密ノ議ヲ要スルモノニシテ必ス教育社會ノ輿論ニ依ラサルヘカラサルモノト信ス果シテ然ラハ教育高等會議創設ノ必要ハ今日ニ至リ益迫レリト云ハサルヲ得ス政府ハ今日ニ於テ如何カ處置セントスルヤ右議院法第四十八條ニ據リ及質問候也

貴族院議事速記録第五號

明治二十九年一月十八日

議長ノ報告

教育高等會議創設ニ關スル質問書ニ付テノ説明

三九

明治二十九年一月十六日

發議者

子爵 谷 干 城

贊成者

公爵 二條 基 弘

外三十名

(加藤弘之君演壇ニ登ル)

○加藤弘之君 諸君、此教育高等會議創設ノコトニ附キマシテハ先議會ニ於テ諸君ノ御賛成ヲ以テ政府ニ建議ニナツテ居リマス然ル所ガ一年ヲ經テ今日ニ至ツテモ政府ノ採否ガ分リマセヌ、今日ニ至ツテハ昨年ヨリハ更ニ其必要ガ又増シタヤウニ考ヘル事ガ大分アリマスルカラ已ムコトヲ得ズ又政府ニ其採否ニ附イテノ質問書ヲ差出シマシタ、デ諸君ノ御手許ニモ配付ニナツテ居リマスルカラ多分御覽ニナツタコト、考ヘマスルガ、大體ハ是ニ書イタ所デ盡シテアリマスルケレドモ簡單ニ尙ホ主意ヲ辯明致シタイト考ヘル、デ高等會議ハ前議會ニ本院デ建議ニナリ又衆議院カラモ建議ニナツタ、然ル處ガ其後何ノ音沙汰モナクシテ今日ニ至リマシタガ、建議ノ節ニモ申シマシタ通ニ既ニ鐵道會議モアリ土木會議モアリ衛生會議モアリ、其外ニ至ツテ又臨時ニ出來タ所ノ會議モ隨分アル、獨リ教育會議ト云フモノニ至ツテハ未タ其設立ヲ見ル譯ニ至ラヌノデ、併ナガラ此教育會議ハ議院ガ始メテ前議會ニ建議シタノデハナイ、一體ハ三四年前ニ既ニ文部省デ計畫ニナツテ既ニ內閣ニ出テ內閣デモ殆ド決定ニナツタト云フヤウニ承ツテ居ルノデ、ソレハ私ハ前文部大臣カラ公ノ祕密デ直カニ承ツタ、ソレガドウ云フ譯デアアルカ其後中止シテ仕舞タ、デ甚ダ残念ナコトデアアルカラ前議會ニ於テ建議ヲセネバナラスト云フ必要ニ迫ツテ建議ヲスルコトニ至ツタノデ、然ル處ガ今日ハ其前議會ノ時ヨリハマダ必要ガ増シテ來タト考ヘル、ソレハ即チ此質問書ニ書キマシタ通ニ臺灣ト云フモノガ新規ニ版圖ニ這入ツテ來タ、臺灣ノ教育ト云フモノガ是ガ餘程困難ナモノデアツテ、ドウヤツテ宜シイカナカノ其容易ニ考ノ誰ニモ著クモノデハナカラウト思フ、然ル處ガ今大總督府ニ僅ノ教育家ガ屬シテアチラニ行ツテ何か計畫シテ居ルヤウナ様子ガアル、文部省ハドレ程其臺灣ノ教育ニ關係ヲシテ居ルカ少モ存ジマセヌ、ケレドモ大總督府ト云フヤウナモノハ教育ノ事杯ハ決シテ知ツタモノデナイ、サウ云フ所ノモノニ僅々ノ教育家ヲ集メテサウシテ其大切ナ所ノ臺灣ノ教育ニ手ヲ著ケルト云フコトハ餘程危険ナコトデアラウト思フ、是ハ其モウ昨年ノ議會ニハマダ考ノ著カナカッタコ

トデ、最モ此鄭重綿密ニ議ヲ盡シテサウシテ手ヲ著ケネバナラヌコト、考ヘ
ル、其上ニ又此回ノ議會ニ於テ此清國ノ償金ノ幾分ヲ市町村ノ教育ノ基本ニ
充テルト云フ建議ガ衆議院モ貴族院モ出マシテ衆議院デハ多分可決ヲシタデ
アラウト思フノデ、貴族院デハマダ委員會ニ出テ居リマスルガ、若シ是ガ可
決シテ建議ニナラタ日ニハ斯ナ事ハ又容易ニ粗漏ナ議論デ極メルベキコト
デナイ、償金ノ十分ノ一ヲ以テ教育費ニ充テルト云フ隨分大切ナル話デア
ルカ、僅ナ文部省デ評議シテ極メルト云フヤウナコトデハ誠ニ危險極マルコト
ト思フ、ソレカラ又茲ニハマダ書キマセヌデアリマシタガソレハ即チ此語學
校ノコトデ、前日ノ語學校ノコトハマダコトナリモ建議ノ手續ガ就イテ居
マセヌカラ此質問書ノ起草ヲスルトキニ書ク譯ニハ參リマセヌカラ漏レテ居
ルノデアリスガ、アレモ既ニ議決デ建議ニナリマシタ、衆議院カラモ多分其運
ビニナルデアリマセウ、是等モ亦決シテ粗漏ニ極メルコトノ出來ベキコトデ
ハナイ、教育社會ノ輿論ニ依ッテ定メネバナラヌコトデアアル、マ其外澤山アリ
マスケレドモ此三ツハ昨年ノ議會ノ時ニハ考ノ無カッタコトデアアル、ソレガ
新ニ殖エテ來タコトデ、其中ニモ臺灣ノ教育ノコト、ソレカラ清國ノ償金ヲ市
町村ノ教育ノ基本ニ用ヒルト云フコトハ是ハ餘程大切ナルコトデアアル、マ非
常ナルコトデアアル、是等ノコトヲ教育社會ノ輿論ニ依ラズシテ極メルト云フ
コトハ眞ニ慨歎ノ至ト考ヘル、デドウ云フ譯デア政府ハ種々ノ會議ヲ起シナ
ガラ人材ヲ養成スル所ノ本員等カラ考ヘテハ最モ大切ニ思フ所ノ教育會議
ダケヲ起サナイ、デウモ其理由ガ分ラナイ、コチカラ建議シタノミナラズ始
ニハ政府自ラ立テムトシテ居テサウシテツレヲ中止シテ仕舞ッテ其儘ニシテ
議院カラ建議シテモツレヲ採用シナイト云フノハ餘程何カ意味ガ有ルデア
ラウト考ヘマスルケレドモ考ガ附カヌ、或者ハ說ヲ爲シテ曰ク教育會議ヲ起
シタラバ教育社會ノ者ガ隨分亂暴ナ議論ヲシテソレデア政府ノ厄介ヲ拵ヘルデ
アラウ、ソレデア政府ハ躊躇シタデアアラウト云フコトヲ言フ者ガアル、ケレド
モ誠ニ解スベカラザル說デアアル、鐵道會議モアリ土木會議モアリ其他衛生會
議モアリ其外臨時ノ幣制調查會ノヤウナモノガアル、總デアンナ會ガアッテ
ソレ等ハ何モ亂暴ナ說ハ無イヤウデアアル、隨分政府ノ爲ニナッテ居ル會ガ多
イト考ヘル、獨リ教育社會ノ者バカリガ亂暴ナデアルト云フ說ハドウ云フ心
配カラ出タコトカ分ラヌ、教育社會ノ者バカリハ亂暴スルト云フ杞憂ハドウ
云フコトカラ出テ來マスカ、本員等ニハ分ラナイ、教育社會ノ者ガ亂暴スルヤ
ウナ者ナラバ今日ノ教育ト云フモノハ亂暴ヲ教ヘル所ノ教育デナケレバナラ
ヌ、サウ云フ教育デハタマラヌ話デアアルガ事實ニ於テサウ云フコトハ少シモ
現レテ居ラヌカラ或人ノ說ヲ爲シテ言フ所ノ政府ガ教育會ヲ起シテ亂暴說ノ
出ルノヲ恐レテ居ルト云フノハ決シテ實ヲ得タモノデハナカラウ政府ハツン

ナ薄弱ナ理由カラ教育會ヲ起サナイト云フヤウナコトデハナカラウト考ヘマ
ス、ケレドモツレナラバドウ云フ譯デアアルト云フコトハ本員等ニ推察ハ著カ
ヌノデ、或者ノ說ハ甚ダ間違ツタ說デアラウト思ヒマスルガ、ソレナラバ政
府ガドウ云フ理由ガ有ッテ立テヌノデアアルカト云フコトハ、ドウモ本員等ニ考
ガ著カヌ、考ガ著カヌケレドモ度々申シマスル通ニ昨年建議シタトキヨリ必
要ガ益、迫ツテ來テ居ル、其必要ト云フモノハ眞ニ大ナル必要デ臺灣ノ教育
ト云フモノヲ一度ビ誤ルトキハドウ云フ結果ガ生ズルデアラウカ、決シテ内
國ノ教育ト同日ニ論ズベキコトデハナイ、低イ教育デアアルケレドモ其難イコ
ト、云フモノハ決シテ同日ニ論ズベカラザルコトデアアル、第二ニハ償金ノ十
分ノ一ヲ以テ教育費ニ充テルト云フコトモ容易ナ話デハナイ、ソレ等ノ事ニ附
イテハドウシテモ教育社會一般ノ輿論ヲ聞クト云フコトニセネバ逆モ公平ナ
コトハ出來ズ、ソレカラ又宜シキヲ得タ仕事モ出來ヌト思フノデアリマス、
サウ云フ譯ヲ以テ已ムコトヲ得ズ質問書ヲ政府ニ提出シタ譯デアリマス、其
理由ヲチヨット申述ベテ置キマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 議事日程ニ移リマス、明治二十八年度歳入歳出
總豫算追加案審査期限ヲ定ムルノ件

○公費近衛篤磨君 此審査期限ノコトデゴザリマスルガ、至ッテ簡單ナ豫算
案デアアルノミナラズ隨分焦眉ノ急ニ迫ッテ居ルモノト思ヒマスカラ、若シモ
議場ノ定員數ニ缺ケルコトガゴザイマセヌナラバ直ニ委員席ニ退キマシテ午
後一時ニ報告ヲ致スト云フコトニ致シマシタラドウデゴザイマスカ、或ハ又
定足數ニ缺ケルコトガゴザイマスカレバ議事散會後ニ致シマシテ次ノ議事日程
ニ御載セニナッテモ宜シカラウト存ジマス、免ニ角午後一時ニ報告スルト云フ
コトノ動議ヲ提出致シマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 唯今御退キニナリマシテモ別ニ定足數ニ差支ハ
ゴザイマセヌ

○富田鐵之助君 唯今近衛委員長カラ午後一時ニ報告スルト云フ動議ガ出テ
居リマスガ極簡單ナルコトデゴザイマスカラ直ニ調査濟ミ次第午後一時前ニ
デモ議場ニ提出ニナルヤウニ致シタイ

○公費近衛篤磨君 ソレハ別段ニ私ニ於テモ異論ハアリマセヌガ、併シ大抵
時限ヲ限ルコトガ慣例デアリマスカラ一時ト申シマシタガ富田君ノ言ハレ
通、審査ノ濟ミ次第ニ報告スルコト、致シテモ異存ハアリマセヌ

○南郷茂光君 近衛公費ニ賛成

○副議長(侯爵黑田長成君) 唯今近衛公費ヨリシテ本案ノ審査期限ハ別ニ期
限ヲ設ケズシテ是ヨリ直ニ委員會ニ退席致サレテ審査ノ濟ミ次第第二議場ニ報
告ニナルト云フコトデ、富田君モサウ御考デゴザイマス、之ニ附イテ御異議

ガゴザイマセネバ別段起立ニ問フマデモナイト考ヘマス

(異議ナシ)ト呼フ者數名アリ

然ラバ豫算委員ノ方々ハ御退席ニナリマシテ成ルベク速ニ御報告ニナルコトヲ希望致シマス

(豫算委員退席ス)

次ノ議事日程ニ移リマス、司法官試補實地修習期間ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告、徳川公爵

(公爵徳川家達君演壇ニ登ル)

○公爵徳川家達君 特別委員會ノ經過並結果ヲ御報道ニ及ビマス、一昨十六日議事散會後ニ正副委員長ノ選舉ヲ行ヒマシテ本員ガ委員長ニ、兒島惟謙君ガ副委員長ニ當選ニ相成リマシテ乃チ昨日ノ午前委員會ヲ開キマシテ清浦司法次官モ出席致サレテ充分ニ調査ヲ致シマシテ其結果ハ判事檢事ノ補缺ヲ計ルタメニハ此法案ハ已ムヲ得ザル法案アル故ニ可決スベキモノト云フ論ガ出マシテ其論ニ對シマシテ一人ノ反對論者モ無ク全會一致ヲ以テ決議ニ相成リマシタ故ニ滿場ノ諸君ハ委員會ノ說ニ御賛同アラシコトヲ偏ニ希望致シマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 別ニ御發議ガゴザリマセネバ是ヨリ直ニ第二讀會ヲ開クベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、本案第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黒田長成君) 過半数ト認メマス

○公爵徳川家達君 本日直ニ第二讀會ヲ開カンコトヲ希望致シマス

○子爵小笠原壽長君 賛成

○子爵立花種恭君 賛成

○柴原和君 賛成

○侯爵久我通久君 賛成

(賛成)ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 徳川公爵ノ議事日程ヲ變更シテ直ニ第二讀會ヲ開クト云フ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黒田長成君) 過半数ト認メマス依ッテ直ニ第二讀會ヲ開キマス書記官ヲシテ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)

司法官試補ノ實地修習期間ハ今後五箇年間ハ一年六箇月マテニ減縮スルコトヲ得

貴族院議事速記録第五號

明治二十九年一月十八日

司法官試補實地修習期間ニ關スル法律案 第一讀會ノ續 第二讀會 第三讀會
明治二十八年年度歳入歳出總豫算追加 會議

○副議長(侯爵黒田長成君) 別ニ御發議モゴザリマセネバ決ヲ採リマス、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黒田長成君) 過半数ト認メマス

○公爵徳川家達君 第三讀會ヲ引續キ開カレンコトヲ希望致シマス

○柴原和君 賛成

○調所廣丈君 賛成

○箕作麟祥君 賛成

○子爵立花種恭君 賛成

(賛成)ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 徳川公爵ヨリ直ニ第三讀會ヲ開クト云フ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黒田長成君) 過半数ト認メマス、直ニ第三讀會ヲ開キマス、朗讀ハ省略致シマス……別段御發議モゴザリマセネバ原案ニ就イテ決ヲ採リマス第二讀會ノ決議案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黒田長成君) 過半数ト認メマス、依ッテ本案ハ可決セラレマシテゴザリマス、追テ豫算案ノ報告ガゴザリマスル答デゴザイマスカラ其節ハ再ビ議場ヘ御集リヲ願ヒマス、一應休憩

午前十一時十四分休憩

午前十一時三十一分開議

○副議長(侯爵黒田長成君) 唯今豫算委員長ヨリ報告ガ出マシタニ依リマシテ是ヨリ豫算ノ會議ヲ開キマス、實ハ此報告書ハ印刷シテ諸君ニ御配布致スガ正當ノ手續デゴザイマスガ何分時ガ切迫致シテ居リマスノデ之ヲ省略致シマシテ唯今書記官長ヲシテ報告書ヲ朗讀致サセマス

(中根書記官朗讀)

(丙)明治二十八年年度歳入歳出總豫算追加
右衆議院議決案ノ通可決セリ依ッテ此段及報告候也

明治二十九年一月十八日

豫算委員長

公爵 近衛 篤 磨

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

(公爵近衛篤磨君演壇ニ登ル)

○公爵近衛篤磨君 前刻此二十八年年度歳入歳出總豫算追加丙號ヲ直ニ豫算會

ニ附シテ其結了次第第二議場ニ報告スルト云フコトニ決議ガアリマシタニ附
キマシテ直ニ豫算委員ノ者ハ會議室ニ退キマシテ審査ヲ遂ゲマシテゴザイマ
ス、然ルニ此豫算ハ誠ニ簡單ナモノデアリマシテ其理由モ誠ニ明瞭デアリマ
ス、即チ大阪ノ控訴院並ニ地方裁判所ガ本年ノ一月四日ニ火災ニ罹ッテ燒
失ヲシタ、サウシテ地方裁判所ノ方ハ政府委員ノ説明ニ依リマスルト區裁判
所ニ一時合併ヲシテ居ルケレドモ甚ダ狹隘デアッテ法廷ハ無論ノコト事務室
杯モ餘程差支ヲ生シテ居ル又控訴院ノ方ハ一部分殘ツタ所ガアルノデツレデ
ヤッテ居ルケレドモ殆ド法廷ハ閉ゼテ居ルト言ッテモ宜イ有様デアアル、ソレ
デ僅々六千圓ノ金デアアルガ是デ以テ纔ニ一部分ヲ補ヒ或ハ建増ヲシテ一時ノ
凌ギヲ附ケル積デアアル、尙ホ新築スル場合ニ至ッテハ技師ノ設計其他ニ時日
ヲ要スルカラ全ク此焦眉ノ急ヲ救フタメニ是ダケノ費用ヲ要スルノデアルト
云フコトデアリマシテ誠ニ明瞭ノ事柄デアリマスルカラ一人ノ反對モ無ク直
ニ全會一致ヲ以テ委員會ニ於キマシテハ議決ヲ致シマシタ、此豫算ハ總テ豫
算議定細則ノ十四條ニ「豫算委員ヲシテ豫算案ノ全體ヲ整理シ之ヲ議院ニ報
告セシムヘシ」ト云フコトガアリマシテ其手續ヲ致スベキデアリマスルケレ
ドモ一點ノ修正モナク原案ノ通ニ決シタ議案デゴザイマスルカラ別段ニサウ
云フ手續ヲスルニモ及ブマイト云フノデ直ニ其儘報告致シタ次第デアリマ
ス、此段御承知ヲ願ヒマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 此豫算案ハ至ッテ簡單ナモノデゴザイマスルカ
ラ一體ハ歳出ヨリ歳入ニ移リ項ヨリ款ニ及スコトデゴザイマスルガ便宜上歳
入歳出款項共ニ連ネテ問題ニ供シマスル、書記官ヲシテ朗讀致サセマス
(有賀書記官朗讀)

歳入臨時部

第六款 前年度繰入金 金六千圓

第一項 前年度繰入金 金六千圓

歳出臨時部

司法省所管

第一款 營繕費 金六千圓

第三項 火災新營繕費 金六千圓

○副議長(侯爵黒田長成君) 原案ニ附イテ決ヲ採リマス、原案ヲ可トスル諸
君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黒田長成君) 過半数デゴザイマス、可決セラレマシテゴザイ
マス、是ヨリ豫算トゴザイマスル所ヲ問題ニ供シマス一應朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)

豫算

明治二十八年度歳入歳出追加額ヲ各六千圓ト定ム其款項ノ金額ハ別冊歳入
歳出豫算ニ據ルヘシ

○副議長(侯爵黒田長成君) 原案ニ就イテ決ヲ採リマス、原案ヲ可トスル諸
君ノ起立ヲ請ヒマス

總員起立

○副議長(侯爵黒田長成君) 全會一致ト認メマス、依ッテ本案ハ可決セラレ
マシテゴザイマス、次ノ議事日程ハ唯今定メ兼マスニ依ッテ追テ御報道ニ及
ビマス、今日ハ散會

午前十一時三十八分散會